

決裁区分	部長	課長	課長代理	担当	起案	分類	0・2・4
丙	諸星	志村	志村	石原	久保谷	起案	28・12・27
						決裁	28・12・27
						施行	・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会						
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 28 年度 第 1 回 公共施設等総合管理計画策定 プロジェクトチーム						
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 ワーキンググループ						
開催日時	平成 28 年 12 月 22 日 (木) 午前 10 時 0 分 ~ 午前 11 時 30 分						
開催場所	議会第 4 会議室						
出席者	政策部長 (チームリーダー)			財務部長			
	建設部長			建設管理課長			
	上下水道局長			水道施設課長			
	事務局	政策部参事	公共施設マネジメント課長	同主査			
議 題	1 秦野市公共施設等総合管理計画 (案) について						
	2 その他						
配付資料	資料 1 公共施設等総合管理計画の位置付け						
	資料 2 秦野市公共施設等総合管理計画 (案) 12.22PT						
会 議 結 果							
<p>① 各課長代理をWG会議のメンバーとして計画の策定を進めてきた。計画の策定にあたり、案について、PT会議の承認を得ることを目的として、今回の会議を設定した。</p>							
<p>② 将来費用の試算には、維持管理費は含まれているのか。 → 更新に係る費用の試算であり、維持管理費は含まれていない。更新するだけでもこれだけの費用がかかるということである。</p>							
<p>③ 費用の内容に誤解が生じないように、更新という言葉の意味について定義や説明を追記されたい。</p>							
<p>④ 計画策定後の流れはどのようなことが考えられるか。 → 各施設ごとの個別施設計画により、具体的な取組が求められていくものと捉えている。今年度で全国的に計画が策定されることを受けて、総務省もしくは関係省庁からのアクションが当然あるものと考えている。動向を見極めながら対応していきたい。</p>							
<p>⑤ 本計画及び個別施設計画の位置付けや本計画の趣旨については、冒頭段階で説明を追記されたい。</p>							
<p>⑥ クリーンセンターなど、二市組合の取り扱いについてはどのようなか。 → 二市組合については、二市組合で作成することになるが、Q&Aによると、最適化事業債などの活用がある場合は作成することが求められている。</p>							
<p>⑦ 公共施設における「ハコモノ」という表現は、贅沢、不要なものなどのイメージとされないか。 → 国の指針にも、インフラに対して、ハコモノという表現が使われている。スタンダードな表現と考えるが、注釈を追記する。</p>							
<p>⑧ この試算には、例えば、橋りょうの長寿命化計画などによる効果後の数値が反映されているのか。 → 取組の効果後の数値ではなく、現状のまま更新したらどうなるかを把握しているものである。この現状を受けて、個別施設計画等を通じ、必要な取組を図っていく。</p>							

	<p>⑨ 経営計画や財政的計画等の既存計画においても費用の試算を行っているが、その数値とこの計画数値のギャップが生じる。条件による差異として理解して良いか。 → ご指摘のとおり。そのような注釈も本文に追記する。</p>
	<p>⑩ 計画の見直し時期などの要請はあるか → 指針において、そのようなものはないが、必要があれば見直しをかけるなど、フォローアップについては、計画している。</p>
	<p>⑪ 将来費用の試算に使用している単価の設定方法はどのようなか。 → 国の試算ソフトの設定単価を使用している。設定単価については、国が工事等の実績を統計した上で設定しているが、ソフトの仕様書が公開されており、抜粋して計画の資料に掲載する。</p>
	<p>⑫ 今後、1月5日の部長会議、1月16日の議員連絡会に報告のうえ、2月1日よりパブリックコメントを実施する。追記等したものは、1月5日の部長会議にて確認することとし、本PT会議においては、案について承認してよいか。 → 承認した。</p>
備考	